

資料2 これまでの高校再編と現在の取組（魅力化等）

岩手県教育委員会

高校再編計画の推進状況

岩手県における高校再編の推移

※第2期再編計画後期（R3-R7）欄の数値において、R3は実績値、R7は推計値及び見込み値である。

年度	再編計画	主な取組	中学校 卒業生数	全日制設置学校数 (うち分校数)	全日制 募集学級数	全日制 募集定員	
H12 H21	第1期	前期 (H12-H16)	・ 学校統合や学級減等による学級数調整 (小規模専門高校の総合学科高校への再編など)	17,874人 ↓ ▲2,406 15,468人	83校(5校) ↓ ▲5 78校(4校)	359学級 ↓ ▲44 315学級	14,360人 ↓ ▲1,760 12,600人
		後期 (H17-H21)	・ 学校統合や学級減等による学級数調整 (小規模校の統合、分校の廃止など)	14,857人 ↓ ▲1,179 13,678人	77校(4校) ↓ ▲12 65校(2校)	301学級 ↓ ▲28 273学級	12,040人 ↓ ▲1,120 10,920人
H23	東日本大震災津波の発災により再編計画を中断						
H28 R7	第2期	前期 (H28-R2)	・ 学級減を主とした学級数調整により、地方の学校を維持	12,092人 ↓ ▲1,413 10,679人	63校(0校) ↓ ▲1 62校(0校)	255学級 ↓ ▲31 224学級	10,200人 ↓ ▲1,240 8,960人
		後期※ (R3-R7)	・ 小規模化する専門高校を統合することにより、一定規模を確保した学びの環境を整備	10,082人 ↓ ▲328 9,754人	62校(0校) ↓ ▲3 59校(0校)	224学級 ↓ ▲7 217学級	8,960人 ↓ ▲280 8,680人

後期計画の視点 ⇒ 「10年先、20年先を見据えた高校再編」

「いわての高校魅力化グランドデザイン for 2031」及び「いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業」の実施

- ・ 県内のどの地域に居住しても高校教育を受けられる **機会の保障**（一定の入学者のいる1学級校の維持など）
- ・ 将来の高校生も充実した高校生活を送ることができる **環境の整備**（学校規模の確保など）
- ・ **ものづくり産業等の地域産業を支える人材育成**に向けた専門高校の整備（盛岡工業高校の移転整備など）
- ・ 学校施設の老朽化の実態（約6割が築40年以上（R3.3末））に対応し、**既存施設の有効活用や地域との共創**を図る施設整備
- ・ 前例にとらわれない、より広域なエリアを対象とした学校統合（県南地域工業高校の整備）

高校再編計画第一期（H12～H21）の状況①

年度	H12	H21	増減
中学校卒業生数	17,874人	13,678人	▲4,196人
全日制設置学校数 (うち分校)	83校 (5校)	65校* (2校)	▲18校 (▲3校)
全日制募集学級数	359学級	273学級	▲86学級
全日制募集定員数	14,360人	10,920人	▲3,440人

※ H20募集停止によりH22に閉校となった5校を含む。

普通科の小規模校の統合、小規模専門高校の総合学科高校等への再編、分校の廃止により募集学級数の調整を行った。

【二戸ブロック】

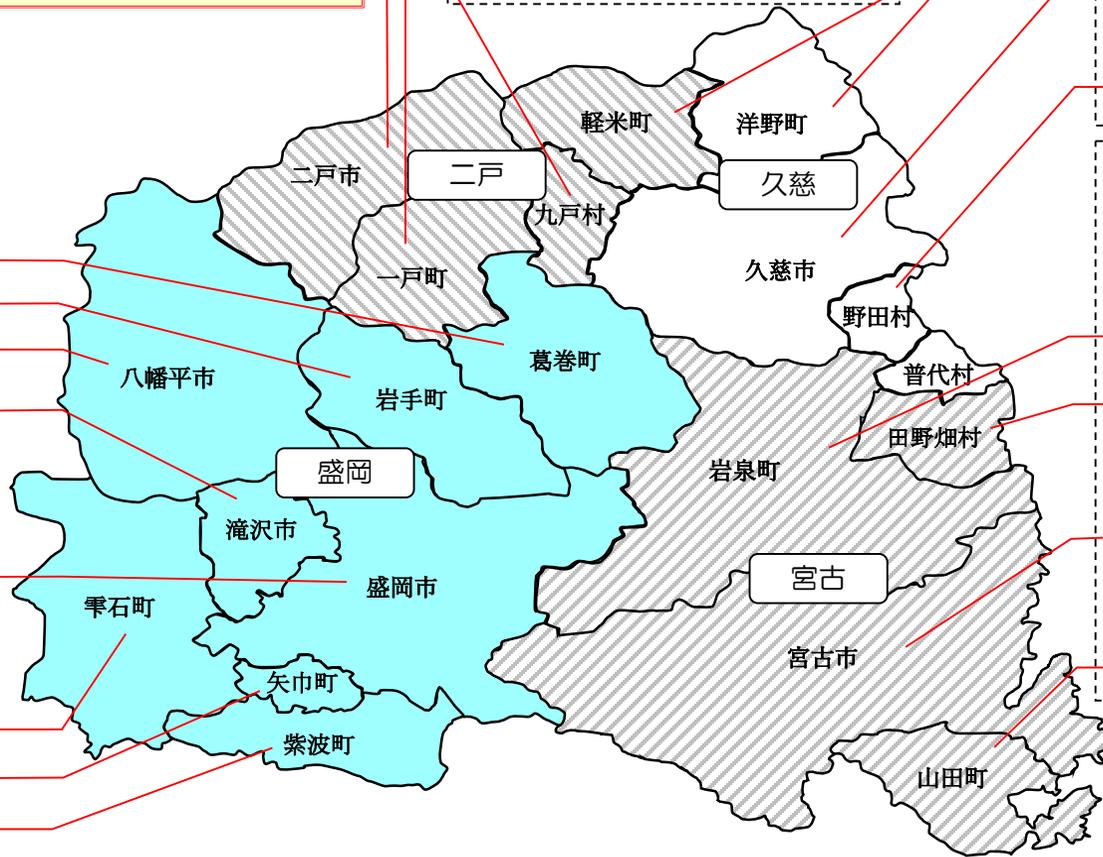
年度	H12	H21	増減
学校数	6	6	0
募集学級数	21	16	▲5
福岡 ⑥	→	⑤	
福岡工業③	→	②	
浄法寺 ②	→	福岡浄法寺校①	
一戸 ④	→	③	
伊保内 ②	→	②	
軽米 ④	→	③	

【久慈ブロック】

年度	H12	H21	増減
学校数	8	5	▲3
募集学級数	22	18	▲4
種市 ③	→	③	
大野 ②	→	②	
久慈 ⑤	→	⑤	
山形校 ①	→	本校に統合	
久慈農林③	→	久慈東⑤	
久慈商業③	→		
久慈水産②	→		
久慈工業③	→	③	

【盛岡ブロック】

年度	H12	H21	増減
学校数	15	15	0
募集学級数	108	80	▲28
葛巻 ③	→	②	
沼宮内 ④	→	②	
平舘 ⑥	→	③	
盛岡北 ⑧	→	⑥	
盛岡農業⑦	→	⑤	
盛岡第一⑧	→	⑧	
盛岡第二⑥	→	⑤	
盛岡第三⑧	→	⑧	
盛岡第四⑨	→	⑦	
盛岡南 ⑧	→	⑦	
盛岡工業⑨	→	⑦	
盛岡商業⑧	→	⑥	
雫石 ⑥	→	②	
不来方 ⑪	→	⑦	
紫波 ⑦	→	紫波総合⑤	



【宮古ブロック】

年度	H12	H21	増減
学校数	10	8	▲2
募集学級数	31	23	▲8
岩泉 ③	→	②	
小川校 ①	→	本校に統合	
田野畑校①	→	①	
宮古 ⑦	→	⑥	
川井校 ①	→	本校に統合	
宮古北 ③	→	②	
宮古工業④	→	③	
宮古商業④	→	④	
宮古水産④	→	③	
山田 ③	→	②	

・各学校の矢印より左側はH12、右側はH21の学級数を表し、下線は分校を表します。
 ・市町村はR4.4.1における市町村です。

高校再編計画第一期（H12～H21）の状況②

【岩手中部ブロック】

年度	H12	H21	増減
学校数	11	9	▲2
募集学級数	51	41	▲10

花巻北 ⑦	} → 花巻北⑦
東和 ③	
花巻南 ⑥	→ ⑤
花巻農業⑤	→ 花巻農業③
花北商業③	→ 花北青雲④
大迫 ②	→ ①

西和賀 ②	→ ②
-------	-----

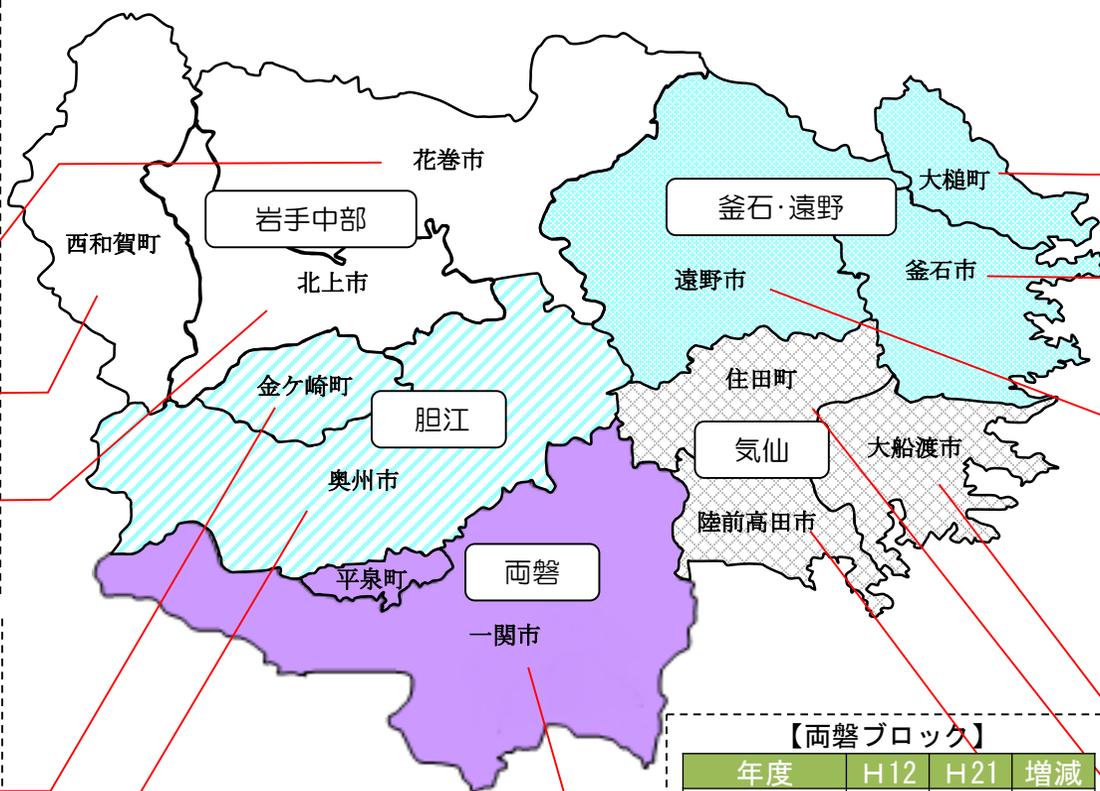
黒沢尻北⑦	→ ⑦
黒沢尻南⑥	→ 北上翔南⑥
北上農業②	→ 花巻農業と統合
黒沢尻工業⑧	→ ⑥

【胆江ブロック】

年度	H12	H21	増減
学校数	9	7	▲2
募集学級数	37	29	▲8

金ヶ崎 ③	→ ③
-------	-----

水沢 ⑦	} → 水沢⑦
胆沢 ②	
水沢農業④	→ ③
水沢工業④	→ ④
水沢商業④	→ ③
前沢 ④	→ ③
岩谷堂 ⑤	} → 岩谷堂⑥
岩谷堂農林④	



【釜石・遠野ブロック】

年度	H12	H21	増減
学校数	8	5	▲3
募集学級数	29	20	▲9

大槌 ③	→ ③
------	-----

釜石南 ⑦	} → 釜石⑤
釜石北 ③	
釜石工業③	} → 釜石商工⑤
釜石商業②	

遠野 ⑥	→ ⑤
遠野緑峰③	→ ②
情報ビジネス校②	→ 本校に統合

【気仙ブロック】

年度	H12	H21	増減
学校数	6	4	▲2
募集学級数	22	18	▲4

大船渡 ⑥	→ ⑥
大船渡農業②	} → 大船渡東⑤
大船渡工業④	

住田 ②	→ ②
------	-----

高田 ⑥	→ 高田⑤
広田水産②	→ 家庭科は大船渡農業・大船渡工業と統合 水産科は高田と統合

【両磐ブロック】

年度	H12	H21	増減
学校数	10	6	▲4
募集学級数	38	28	▲10

一関第一⑦	→ ⑥
一関第二⑥	} → 一関第二⑥
一関農業③	
一関工業④	→ ④
花泉 ③	→ ②
大東 ④	} → 大東④
大原商業②	
千厩 ④	} → 千厩⑥
千厩東 ③	
藤沢 ②	

・各学校の矢印より左側はH12、右側はH21の学級数を表し、下線は分校を表します。

・市町村はR4.4.1における市町村です。

高校再編計画第二期（H28～R 7（前期H28～R 2））の状況①

年度	H28	R 2	増減
中学校卒業生数	12,092人	10,679人	▲1,413人
全日制設置学校数 (うち分校)	63校 ※ (0校)	62校 (0校)	▲1校 (0校)
全日制募集学級数	255学級	224学級	▲31学級
全日制募集定員数	10,200人	8,960人	▲1,240人

※ H24～H27に2校閉校となったことにより63校となっている。

学校数を維持しつつ、学級減により募集学級数の調整を行った。

【二戸ブロック】

年度	H28	R 2	増減
学校数	5	5	0
募集学級数	14	12	▲2
福岡	⑤ → ④		
福岡工業②	→ ②		
一戸	③ → ③		
伊保内	② → ①		
軽米	② → ②		

【久慈ブロック】

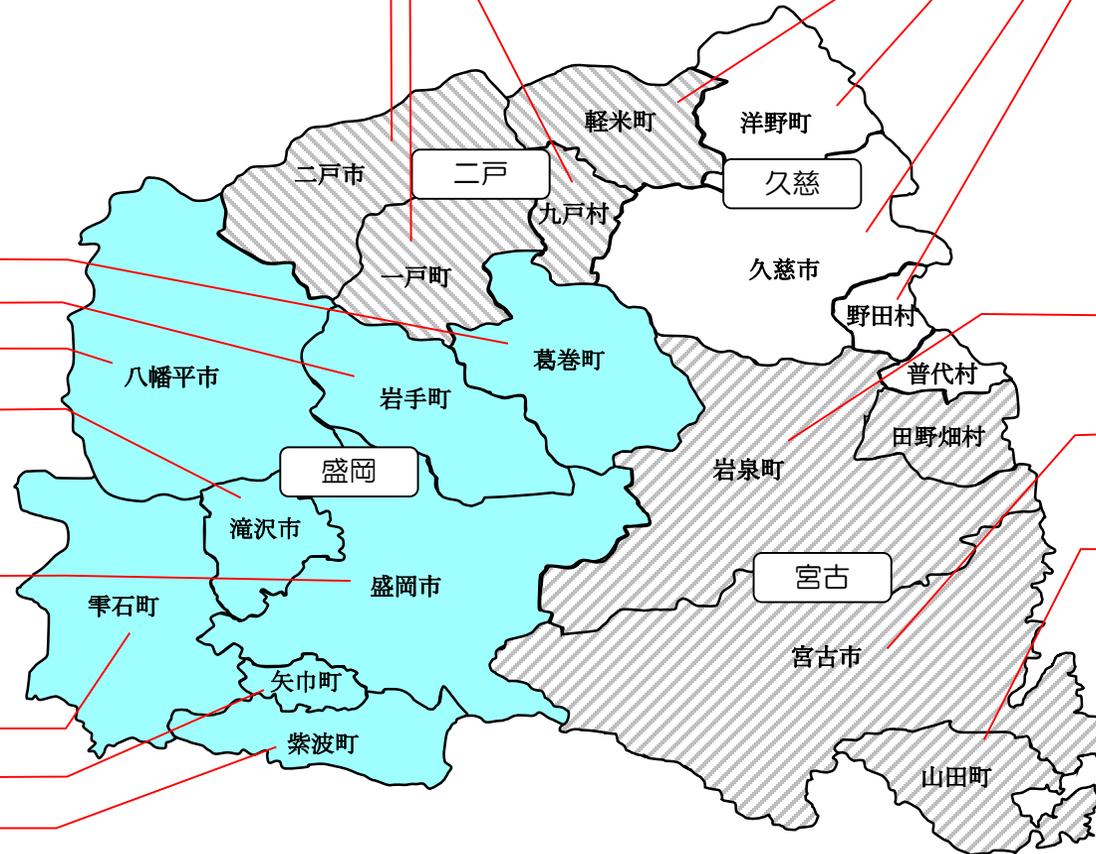
年度	H28	R 2	増減
学校数	5	5	0
募集学級数	17	14	▲3
種市	③ → ②		
大野	② → ①		
久慈	⑤ → ④		
久慈東	⑤ → ⑤		
久慈工業②	→ ②		

【盛岡ブロック】

年度	H28	R 2	増減
学校数	15	15	0
募集学級数	77	72	▲5
葛巻	② → ②		
沼宮内	② → ②		
平舘	③ → ②		
盛岡北	⑥ → ⑤		
盛岡農業	⑤ → ⑤		
盛岡第一	⑦ → ⑦		
盛岡第二	⑤ → ⑤		
盛岡第三	⑦ → ⑦		
盛岡第四	⑦ → ⑥		
盛岡南	⑥ → ⑥		
盛岡工業	⑦ → ⑦		
盛岡商業	⑥ → ⑥		
雫石	② → ①		
不来方	⑦ → ⑦		
紫波総合	⑤ → ④		

【宮古ブロック】

年度	H28	R 2	増減
学校数	7	6	▲1
募集学級数	21	16	▲5
岩泉	② → ②		
宮古	⑥ → ⑤		
宮古北	① → ①		
宮古工業③	} → 宮古商工⑤		
宮古商業④			
宮古水産③	→ ②		
山田	② → ①		



・各学校の矢印より左側はH28、右側はR 2の学級数を表します。
 ・市町村はR4.4.1における市町村です。

高校再編計画第二期（H28～R 7（前期H28～R 2））の状況②

【岩手中部ブロック】

年度	H28	R 2	増減
学校数	9	9	0
募集学級数	39	37	▲2

花巻北	⑥	→	⑥
花巻南	⑤	→	⑤
花巻農業	③	→	③
花北青雲	④	→	④
大迫	①	→	①

西和賀	②	→	①
-----	---	---	---

黒沢尻北	⑥	→	⑥
北上翔南	⑥	→	⑤
黒沢尻工業	⑥	→	⑥

【胆江ブロック】

年度	H28	R 2	増減
学校数	7	7	0
募集学級数	26	23	▲3

金ケ崎	③	→	②
-----	---	---	---

水沢	⑥	→	⑥
水沢農業	③	→	②
水沢工業	④	→	④
水沢商業	③	→	③
前沢	②	→	②
岩谷堂	⑤	→	④

【両磐ブロック】

年度	H28	R 2	増減
学校数	6	6	0
募集学級数	26	22	▲4

一関第一	⑥	→	⑤
一関第二	⑥	→	⑤
一関工業	④	→	③
花泉	①	→	①
大東	④	→	③
千厩	⑤	→	⑤

【釜石・遠野ブロック】

年度	H28	R 2	増減
学校数	5	5	0
募集学級数	19	15	▲4

大槌	③	→	②
----	---	---	---

釜石	⑤	→	④
釜石商工	⑤	→	③

遠野	④	→	④
遠野緑峰	②	→	②

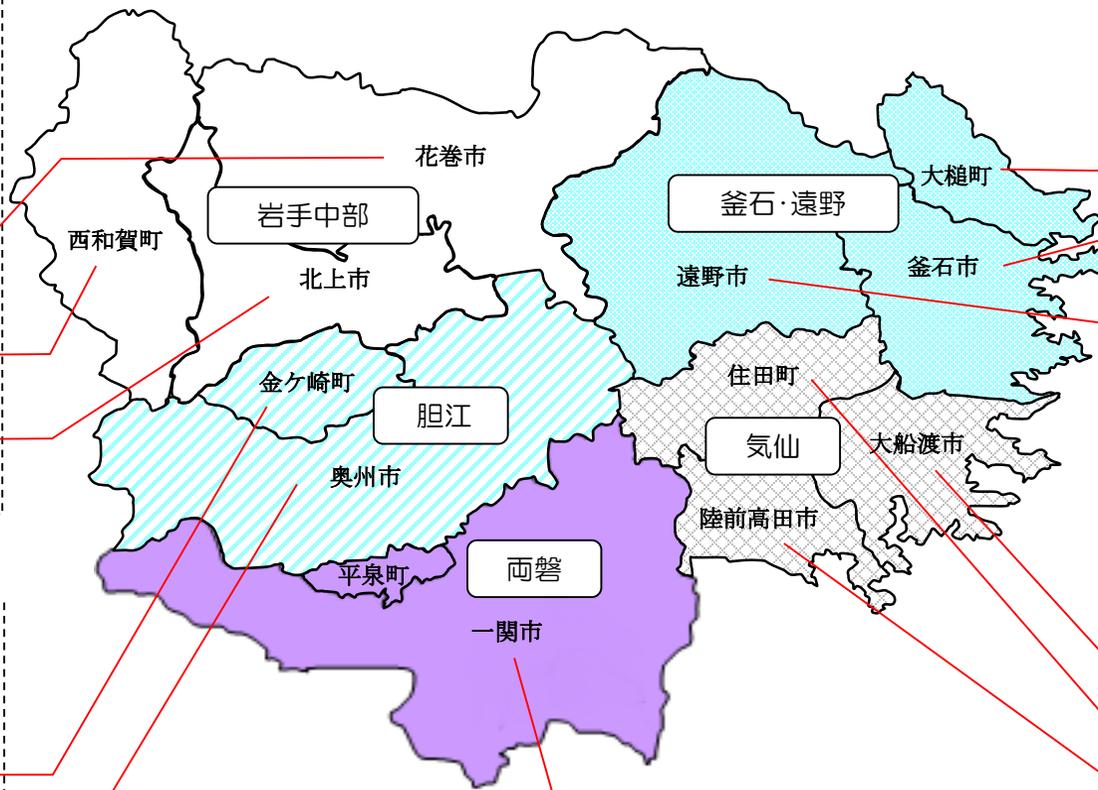
【気仙ブロック】

年度	H28	R 2	増減
学校数	4	4	0
募集学級数	16	13	▲3

大船渡	⑤	→	④
大船渡東	⑤	→	④

住田	①	→	①
----	---	---	---

高田	⑤	→	④
----	---	---	---



・各学校の矢印より左側はH28、右側はR 2の学級数を表します。
 ・市町村はR4.4.1における市町村です。

いわての高校魅力化

- ◎ 令和2年度から小規模校を中心に高校の魅力化に取り組んでいる。
- ◎ 令和3年10月、「**いわての高校魅力化グランドデザイン for 2031**」を策定し、質の高い、いわての高校教育を目指しており、現在、**スクール・ポリシーの策定、コンソーシアムの設置、魅力化評価システムの導入**などを進めている。
- ◎ 令和4年度から事業を拡充し、内閣府の地方創生推進交付金を活用して「**いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業**」を実施。**全県立高校で各校の魅力化の取組を展開し、地域の将来を担う人材の育成、持続的な人づくりを可能にする環境の構築を図り、ふるさとの創生につなげていく。**

2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025~2030 (R7~R12)	2031 (R13)
--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	-----------------------	---------------

いわての高校魅力化グランドデザイン for 2031

魅力化パートナーと協働し 特色ある教育課程を通じて
多様な生徒の学習意欲を 喚起しながら
可能性及び能力を最大限に伸長する
質の高い いわての高校教育 を目指す。

スクール・
ポリシー策定

スクール・ポリシー改訂

事業を拡充

いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業
(内閣府地方創生推進交付金活用)
【全県立高校63校】

コンソーシアムの設置

魅力化評価
システム導入

【高校の魅力化】

地域等との連携・協働による教育活動を推進
《3つの枠組み》
地域連携、学術・国際連携、産学連携

全県立高校
で実施

各校における取組の充実・深化
持続可能な体制の構築・運営

地元定着

Uターン人口の創出

将来の関係人口創出

Iターンの実現

【ふるさとの創生】

地域の将来を担う人材の育成
持続的な人づくりを可能にする環境の構築

高校魅力化
促進事業
【小規模校28校】

いわての高校魅力化（高校の取組例①）

高田高校【T×ACTION PROJECT】

【地域連携】



<高田松原再生活動>

- ・ NPO法人「高田松原を守る会」の皆さんと共に
- ・ マツ植栽地の環境保全
- ・ 再生した50年後の姿を思い描きながら

<空き家維持・整理活動>

- ・ NPO法人「高田暮舎」の皆さんと共に
- ・ 「泊まれる古本屋・山猫堂」整備
- ・ 地域資源の有効利用を考える



大槌高校【復興研究会】

【地域連携】

<定点観測>

- ・ 2013年から継続する変わりゆく街並みを記録
- ・ 大槌町内180か所の変遷を後世に継承



<防災・まちづくり>

- ・ ワークショップに参画し、街作りを「じぶんごと」化
- ・ 防災訓練参画し、防災を担う一住民であることを自覚



<キッズステーション>

- ・ 震災時の避難所運営からの継続した活動
- ・ あそび・勉強を通して地域の子もたちに笑顔や元気を届ける。



いわての高校魅力化（高校の取組例②）

大船渡高校【大船渡学】 【学術・国際連携】

<大船渡学・夏の陣>

- ・ソーシャルビジネスプラン
- ・自分の探究テーマと社会・世界をつなぐ学び
- ・広い視点から考察する意義を理解



<大船渡学・学びの継承>

- ・異学年のチーム構成によりコミュニケーション力を磨く
- ・多様な知識・経験をつなぎ、共有
- ・アクティブに探究する姿勢を養う



花巻北高校【スペース・プロジェクト】 【学術・国際連携】

<ミッション説明会>

- ・合同会社SPACE VALU（花巻市）、Space BD株式会社（東京都）との協働
- ・地元花巻に根付く「宇宙」をテーマに探究活動



<ミッション検討会>

- ・未知の象徴「宇宙」が学びのステージ
- ・時代の先駆けとなる「ミッション」を考察・提案



<ミッション決定会>

- ・花巻北高、姉妹校アーカンソー数理芸術学校、宇宙で短歌を合作
- ・花巻の活性化につながる運用方法を、今後さらに探究



いわての高校魅力化（高校の取組例③）

一関工業高校【地域プロジェクト】 【産学連携】

<地域産業講座>

- ・初回は、一関市長による市の魅力を伝える講演
- ・市長の「熱い思い」を受け止める
- ・「エイ、エイ、オーツ」と「未来の自分」を思い描き



<萩荘DEマルシェ>

- ・萩荘地区の地域イベントに20数名でテナント出展
- ・科学体験コーナーを開催し、地域の子どもに楽しんでもらう
- ・地域のにぎわいの創出をお手伝い



宮古水産高校【宮古トラウトサーモン知る・作る・食べる】 【産学連携】

<知る>

- ・実習艇で白浜沖の「生け簀」に出向いて実地研修
- ・トラウトサーモンは「ニジマス」であることを知る



<作る>

- ・トラウトサーモンを材料にして食品を作る
- ・他の食材との相性を考えながら、様々なレシピを試す



<食べる>

- ・トラウトサーモンからサク取り、サクを切って刺身に
- ・出来具合を、食べて確かめる。自然の豊かな恵みに感謝しながら、いただく

